

選択フランス語A		講義	教授 加藤 芳孝	
科目カテゴリー	スポーツマネジメントコースの必修科目、スポーツトレーナーコースの必修科目 柔道整復師コースの教養選択科目	科目ナンバリング	11110205 12210207	

1. 授業のねらい・概要

フランスと聞くと何を思い浮かべますか。芸術？グルメ？ファッション？パリ 2024年オリンピック・パラリンピック？テニス全仏オープン Roland Garros？では、フランス語はどうでしょう。優雅、おしゃれ、難しそう？世界で最も美しい響きを持つと言われるフランス語は、約30カ国で公用語として使用されている他、国連、EU、OECD、ユネスコ、国際オリンピック委員会を始めとした多くの国際機関で公用語の一つに採用されており、英語に次ぐ世界第二の公用語として大変有用な言語です。

本科目では、全くの初心者を対象に、会話を中心とした基本的な表現を習得することで、海外渡航した際に街中でコミュニケーションが取れる基礎的総合力を養うことをねらいとします。また、フランス語を通じてフランス文化・社会やフランス人の考え方・日常生活など新しい世界に触れることで、多面的な見方を身につけます。

2. 授業の進め方

まずは日常生活で使用する挨拶などの基礎的な表現を通じてフランス語の発音とリズムに慣れ、平行して基本的な文法や文章構成を学習します。自分自身に置き換えた言葉や表現を反復することで語彙を増やし、使えるフランス語を目指します。学習方法：テキストを活用した発音指導、聞き取り、会話練習が中心。

3. 授業計画

1. フランス語の魅力、習得のコツ、発音の特徴	16. 身の回りの物に関する語彙、目的語を伴う否定形
2. 4月のフランス、日常の挨拶から始めよう！	17. 家族に関する語彙、「何歳ですか？」
3. 「私の名前～です」、「フランス人ですか？」	18. 文法：動詞 avoir（持っている）の活用、否定の de、疑問文の作り方
4. 「それは～です」、数字0～20とその指の動作	19. 「その人は誰？」、「仕事は何してるの？」
5. 文法：主語人称代名詞、動詞 être（～です）の活用、国籍の表現	20. 「どんな人？」、人物を描写する（性格・外見）
6. 5月のフランス、「私は～です」、「～に住んでいます」	21. 国・～人に関する語彙、相手にインタビューする
7. 職業・身分の表現、場所の言い方	22. 文法：所有形容詞、疑問詞（1）、形容詞の性と数
8. 簡単な自己紹介、数字21～30	23. 「私の携帯はどこ？」、「これは何ですか？」
9. 文法：oui と non、-er 型動詞の活用、エリジヨン	24. 部屋の中の物に関する語彙、物の位置を示す
10. 「～をください」、「はい、どうぞ」	25. 文法：定冠詞、「～は何？」「何を～？」、縮約（1）
11. 「～語を話しますか？」、「いいえ、話しません」	26. 7・8月のフランス、数字70～100
12. カフェでの飲み物・食べ物と注文、数字30～69	27. 「それ大好き！」、「～がたくさんあるね」
13. 文法：名詞の性と数、不定冠詞、否定文	28. 動詞 aimer（好き）を使った表現、定冠詞の用い方
14. 6月のフランス、「アドレス教えて」	29. 相手の好みを聞く、好き嫌いの程度を言う
15. 「～を持っていますか？」、「兄弟がいますか？」	30. 復習。相手の関心を引く自己紹介

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

事前にテキストのレッスン該当箇所を自習用オンラインビデオで最低3回視聴しておくこと（必要時間10分程度）。授業後は再度オンラインビデオを使って、習った会話表現を次回の授業まで毎日最低5回繰り返すこと（必要時間15分程度/日）。初心者にとって短い時間（10～15分/日）でも、“毎日”フランス語に接することが確実な習得につながります。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

試験実施後、授業内ないしはオンラインにて、回答、解説、講評をフィードバックします。

6. 授業における学修の到達目標

自身に則した基本的な会話表現を身につけることで、相手に臆することなくフランス語で日常生活上最低限必要なコミュニケーションが取れるようになることを目標とします。

到達目標：1. 発音の会得と文法基礎の理解 2. 日常会話の習得・実践 3. フランス語で自分の意思を伝える

7. 成績評価の方法・基準

授業への取組み姿勢（60%）、期末試験・課題（40%）に基づいて評価します。

8. テキスト・参考文献

テキスト：ニコラ・ガイヤール他著『新装カフェ・フランセ Nouveau Café Français』（朝日出版社2022）

9. 受講上の留意事項

履修者は全くの初心者が前提で、発音や表現を一からゆっくり分かりやすく指導しますので積極的に参加してほしい。授業出席と復習が肝要です。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当します。本授業は、金融機関、サービス業界における実務経験を活かして指導します。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。